

令和6年度 学力向上プラン

学校名 銀座中学校

学校の教育目標

きたえる学校	○自ら考え 進んで学ぶ人になろう ○情操を高め 心豊かな人になろう ○心身をきたえ たくましい人になろう
--------	--

教育目標を達成するために学校として重点的に育成を目指す資質・能力（確かな学力向上にかかわる内容）

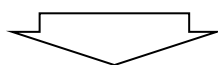
知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等を涵養し、「確かな学力」の向上を図る。

令和5年度「学習力サポートテスト」や令和5年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題及び要因

	児童・生徒の学力の課題	主な要因
国語	「令和6年度学習力サポートテスト」における第三学年は「書くこと」において標準値を0.3ポイント下回っている。第二学年は全単元標準値を超えている。第一学年では「言葉の特徴や使い方に関する事項」で標準値を0.6ポイント下回っている。	「令和6年度全国学力・学習状況調査」等から漢字等を書くことに苦手意識をもつ生徒が多い。
算数・数学	「令和6年度学習力サポートテスト」において1学年は区の平均点より、2ポイント高くなっており、2学年でも、4.5ポイント高くなっている。3学年においても0.8ポイント高くなっている。領域別に見ると、3学年の図形の正答率が低い。	・基礎的な計算問題を反復して行うことで基礎学力が定着しつつある。 ・体験的な学習活動を取り入れたことによって、正答率が区の平均を上回った要因と考えられる。図形が低い理由として回答方法の一つである文章力が弱い事が考えられる。
社会	「令和6年度学習力サポートテスト」における「活用」の正答率が、目標値よりも第1学年で13.0ポイント・第2学年で10.0ポイント、第3学年で8.3ポイント下回っている。	「令和6年度学習力サポートテスト」の観点別正答率によると、「思考・判断・表現」では目標値よりも、第1学年47.1ポイント・第2学年で44.6と低い。また「主体的に学習に取り組む態度」では、第1学年40.0ポイント・第2学年で40.5ポイント・第3学年45.0ポイントである。以上から、主体的に学習に取り組み、思考・判断・表現する機会が少ないことが考えられる。
理科	「令和6年度学習力サポートテスト」において1学年は区の平均点より、0.1ポイント高くなっており、2学年では、7.7ポイント高くなっている。3学年においては区の平均よりも2.4ポイント高くなっている。領域別に見ても、全学年において正答率が高い。	・話し合い活動が定着しつつあり、思考・判断・表現の向上がみられた。 ・実験や観察の結果を丁寧にまとめたことが、正答率が区の平均を上回った要因と考えられる。
英語	「令和6年度学習力サポートテスト」において、3年生は令和5年度では54.2ポイントであったが、令和6年度は	2・3年次の学習内容の多さとその難易度の高さから、学習内容の理解不十分があげ

	54.1ポイントであり、大きな変化はなかった。	られる。
体育・保健体育	令和6年度東京都生徒体力・運動能力調査において持久力が全学年とも都、全国の平均より低い。また、3学年は、合計得点も全国・東京都平均より低い。	・長距離を実施する時期が3学期のため結果につながっていない。授業の中で走ることを増やしていく。

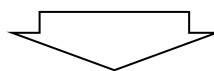
学力向上に向けた視点		年度末までの目標及び指標
① 各教科	国語	「令和6年度実施の学習力サポートテスト」で全ての学年、全ての領域において区の平均点を上回ること。
	算数・数学	「令和6年度実施の学習力サポートテスト」で全ての学年、全ての領域において区の平均点を上回ること。
	社会	「令和6年度実施の学習力サポートテスト」で全ての学年において、区平均を上回ること。
	理科	「令和6年度実施の学習力サポートテスト」で全ての学年、全ての領域において区の平均点を上回ること。
	英語	「令和6年度実施の学習力サポートテスト」で全ての学年、全ての領域において区の平均点を上回ること。
	体育・保健体育	「令和6年度東京都生徒体力・運動能力調査」においてハンドボール投げ・持久走が全学年とも都、全国の平均に近づける。
②授業改善		2学期末実施の生徒授業アンケートにおいて、生徒の85パーセント以上が授業に意欲的に取り組んでいる結果になるように授業改善を行う。
③家庭との連携		12月実施の学校評価保護者アンケートにおいて「授業の質の向上を目指し、交流・対話が活発な授業で『分かった』を実感させている」という項目で80パーセントが肯定的な回答になるようにする。
④体力向上		6月の体力テストの長距離走のタイムと比べ、3学期の長距離走の単元で1、2年生の80パーセント以上の生徒が自己新記録を出せるように体力向上に取り組む。



【目標達成のための具体的な取組内容】

① 各教科	
国語	朝学習の時間を使用し、朝読書を行い継続して読解力向上に取り組む。授業開始10分を利用し、漢字ドリルを活用し、漢字に関わる知識の定着を図る。
算数・数学	全学年において、週末に復習プリントの課題を課し、数学に関わる知識・技能の定着を図る。授業においてICT機器を活用し、身近な話題から数学的な思考力を高める学習活動を行う。
社会	グラフや図の活用ができるように、授業を通して基礎的な技能の定着を図る。また、授業の中でICT機器を活用した調べ学習や発表などを取り入れ知識を活用し、思考力を高める授業を実施する。
理科	実験・発表の機会を増やすことにより、体験して考察する力を育成する。また、学習後に復習プリントを行い繰り返し書くことで学力の定着を図る。
英語	読解への苦手意識をなくすために、レベルをつけてスモールステップ学習をする。また、授業の中で文法習得後に書くことで学習の定着を図る。
体育・保健体育	体力向上のために毎回の授業の中で筋力トレーニングを行っていく。学年や単元によって強度は変えていく。持久力に課題があることから、長距離走の授業内で継続して運動する時間を確保する。
②授業改善	
取組Ⅰ	4月当初に本校校長が講師となり、主体的・対話的で深い学びと評価の関係について講義を行い、学校全体で情報共有をし授業改善を行う。
取組Ⅱ	教員の授業力向上を目指し、校内研修会を通して、教員相互の授業を参観し意見交流する場面を設定していく。
③家庭との連携	
取組Ⅰ	三者面談や家庭連絡等を通じて、担任から、生徒の日常的な生活の様子、学習状況や課題の提出状況などを伝え、家庭との連携した指導を行う。
取組Ⅱ	GoogleClassroomを活用し、学校を欠席しがちな生徒への教科連絡や、定期考査前に掲示板で教材等を提示して学力向上のアドバイスをを行う。
④体力向上	
取組Ⅰ	授業及び外部講師による講演会等により、体力の向上とともに自己の心と体の健康について理解を深めるための学習活動を行う。
取組Ⅱ	体力向上のために毎回の授業の中で筋力トレーニングを行う。学年や単元によって強度は変えていく。

【取組結果の検証】



学力向上に向けた視点		取組の成果	取組の課題及び解決策
①学力基盤	国語	授業前の5分間で漢字の練習を実施し、漢字の定着を図った。また、話し合い活動を実施し、コミュニケーション力の向上を図った。	基礎知識の定着を元に、発展的な話し合い活動の充実を目標に掲げる中に、お互いの意見を尊重しながら、問題解決に向けて協働する力を身につけさせたい。
	算数・数学	週末課題において、主体的に学習に取り組み、基礎的な知識・技能を繰り返し学習することを促した。その結果、知識・技能の定着が見られた。	数学的な思考力・判断力・表現力の向上が課題である。授業の中で、協働して問題解決ができるような場面を設ける。
	社会	単元の中で、グラフや図の読み取りを必ず行った。また、ICTを活用したプレゼンテーションを行い、知識・技能を活用して思考力を高める授業を行った。上記より、考査等で、知識・技能や思考力の定着が見られた。	問われ方（課題）に応じた、知識・技能・思考力の活用が課題である。「ミライシードの活用」や「授業での思考ツールの活用」を通して、応用する力を身につけさせたい。
	理科	実験・発表の機会を増やすことにより、考察する力の向上が見られた。また、学習後に復習プリントを行い繰り返し書くことで学力の定着が見られた。	理科学的な思考力の向上が課題である。授業内容と日常生活の関わりを意識させる授業を展開し、思考力向上につながる場面を設ける。
	英語	毎単元の終わりに、定着確認テストと書く課題を実施し、知識・技能と表現力とともに主体的に取り組む姿勢が定着した。	毎授業で4技能育成の活動を繰り返し実施し表現力は伸びたが、思考・判断に課題がある。教科書以外の読み物を取り入れ、英文読解への苦手意識を軽減させていく。
	体育・保健体育	授業の中で筋力トレーニングを行うことで、体力向上につながっている。長距離走では学年があがるごとにベストタイムを8割が更新できた。	学年によって筋力トレーニングの頻度が違うので統一して取り組んでいく。また、スポーツテストに向けて練習する機会を設ける。

②授業改善	月一度の研修会を行い。教員同士で授業を参観する環境を作った。お互いが新たな発見をし、授業改善に生かすことができた。	研修会を来年度も継続していく。また、若手教員が増えてきているので、OJT研修の中でも授業改善できるようしていく。
③家庭との連携	年2回の三者面談の実施や日々の家庭連絡、tetoruの配信を行うことができた。	GoogleClassroomでの手紙配信を更に充実させていく。
④体力向上	ダンスの授業では講師の先生を呼び技術の向上、体力の向上に努めた。筋力トレーニングも日々の授業の中で行えた。	継続して筋力トレーニングを行い、全学年で統一できるよう実施していく。